

本日の  
プログラム

HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE～ファイターズが取り組む持続可能なまちづくり～

(株)ファイターズスポーツ&エンターテイメント事業統括本部 事業企画部部長 小林 兼 氏

## ガバナー公式訪問

R I 第 2 5 1 0 地区ガバナー 石丸 修太郎 氏

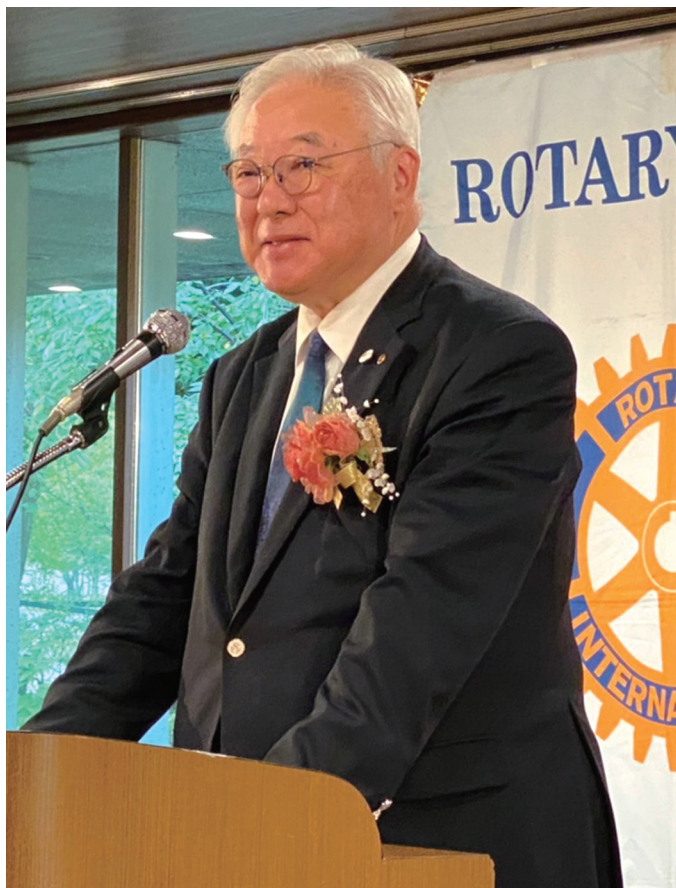
札幌東RCの例会にお邪魔することを大変楽しみにしておりました。どうして100名超の会員数を維持出来ているのか。先ほど井上会長から伺ったところ、「最高時には150名いたが、現在は110名になってしまった」と嘆いておられました。私の所属する札幌西RC最高時は140名、現在46名で厳しい状況にありますが、その中でも仲間を増やすべく活動を進めております。クラブ協議会では「どうしてロータリーの会員数が減ってしまったのか」についてお話をさせていただきました。出席者からお話を聞いていただければと思います。

私は2001年(21年前)にロータリークラブに入会致しました。きっかけは、人生の中でたまにいる抵抗の出来ないとある方からゴルフ場でロータリークラブに入りなさいと言われ入会せざるを得ませんでした。実は父も西RCの会員でありましたが、私が入会する5年前には退会をしておりました。よって親からロータリーについての話しは聞いたことがなく、今覚えていることはロータリーに行ったら酔って帰ってくるくらいしか知りませんでした。

私はロータリーの入会にあたり、出席出来なくなったら辞めるという覚悟で臨み1～2年目にかけては100%出席をし、3年目からは親睦活動委員長を任され、やっとこの頃にロータリーの楽しさを実感してきました。

4年目には幹事を仰せつかり、7年後にはクラブからガバナーを輩出した時期であり、地区幹事を仰せつかりました。その翌年にはクラブの会長になり、また、同時に地区委員にも推薦されGSE(Group Study Exchange)委員の委嘱を受けました。

2009-10でクラブの会長を務めている時に、北海道税理士会の会長への声がかかり、東京への出張が続く忙しい中、年間42回の例会中41回の例会に参加することが出来ました。



その後8年間も北海道税理士会の会長は下りることが出来ず、後半には自分のクラブの例会に出ることも難しくなっていました。そろそろ退会の催促が来るのかと思いきや、当時の会長からの電話で「そろそろ税理士会の会長終わって言っていたよね？ 地区からガバナー補佐を出して欲しいと言われてるのでやって欲しい」と連絡を受けました。長期間に渡って例会を欠席している自分にガバナー補佐が務まるのかと思いましたが、その年度は国立ガバナー年度で、国立パストガバナーは大変優しい方ですので、ほとんどガバナー補佐らしい仕事は出来ませんでした。なんとか務め上げることが出来ました。

しかしながらその3年後、とあるパストガバナーから電話があり、「石丸君まさか私の言うこと嫌とは言わないよね？」といったきっかけから現在ガバナーを務めております。ガバナーをやるということは覚悟がいることを引き受けてから気付きました。

東RCは60番目の公式訪問です。これはガバナーをやらないと分からない悦びだと思いますが、60のクラブ全てが違うこと。歴史・場所・

会員が全てのクラブで違い、その一人一人がそれぞれのロータリー観を持っており、それぞれ異なったロータリー観を持っているからこそ、ロータリーは楽しいと改めて気付かされました。

また、東RCではクラブ会報を電子化したということで、素晴らしいことだと思っております。今年度から「ガバナー月信」も電子化を致しました。紙面配布を廃止し電子化したお陰で、以前は印刷の都合から締切が3週間前だったものが10日前までとなり、また記事の枚数に制限がない(紙面ではページ数が4の倍数に限られる)ことが一番のメリットだと考えております。ガバナー補佐の自己紹介やクラブ訪問記でも、字数制限なしに好きなだけ書けるため、以前とは違い内容を省略する必要がなく内容が充実しており、デジタルもいいことはあると確信しております。

ジェニファーE・ジョーンズRI会長年度、東RCに女性会員が入会することを聞き本当に嬉しく思っております。ロータリー117年の歴史の中で初めての女性会長、その年度に私のガバナー年度が重なったことも嬉しく思ってお





ります。本来であれば本年2月アメリカのフロリダ州オーランドで行われるRI国際協議会の5日間の研修でRI会長とお会い出来る予定でしたが、コロナ感染拡大の影響によりZOOM開催となってしまいました。当地区目標の「ロータリーに想いを馳せる」～明日のロータリーに夢を込めて～も、RIテーマであります「イマジン ロータリー」につきましても同じ目標であると認識していただいて結構かと思っております。

4つの地区年次目標行動に

1. クラブの将来像を打ち立てる
  2. より多くの会員の参加を得てクラブにおいて新たな事業に取り組む
  3. 青少年への支援を発展・充実させる
  4. ICTも利用して交流の輪を広げる
- を定めさせていただいております。

DEI (Diversity 多様性 Equity 正当性と公正さ Inclusion 包括性)は4つテストがあるロータリーに必要なのか私にとっては疑問に思っておりますが、11月にRI会長に会えるの

で、会長に真意をお聞きしてみたいと思っております。

国際奉仕はここ数年のコロナ禍によって行き来が出来ないためやりたくても活動出来ない。とても残念ではありますが、各クラブを訪問しても地区で行っているタイでの水支援事業やVTT支援事業のみが国際奉仕事業になってしまっており、寄付することだけが国際奉仕の役割になりつつあります。皆さん身を持って国際親善活動しませんか？ それは簡単です、私と一緒に2023年5月27日RI国際大会(オーストラリア メルボルン)に参加しませんか。

米山奨学生は日本だけの制度ですが、国際ロータリーの認可をいただいている活動でありまして、海外からの留学生を母国と日本の親善大使として支援することです。これは日本が誇る素晴らしい活動であると考えております。東RCにおいては既に多大なご支援をいただいておりますが、さらなる暖かいご支援とご協力をいただければ幸いに存じます。

どうもありがとうございました。

